

科目番号	51025	分類	履修者	高度実践看護コース	学年
科目名	臨床推論 (Diagnostic Reasoning)				1
					配当人数
担当者	〇浦中 桂一 他17名	区分	必修	単位	カリキュラム 90
					時間数
授業の概要および目標					学位授与の方針と関連
【概要】 クリティカル領域の医療現場で対応が多い症状に応じて臨床推論を行う過程を理解し、それを裏付けるためのフィジカルアセスメントを行い、症状に応じた的確な臨床推論を行うための知識・技術を修得する。 【目標】 1. 症候ごとの臨床推論を理解する。 2. クリティカル領域の医療現場で対応が多い症状に対する的確な臨床推論ができる。	〇1	クリティカル領域における患者の状況を総合的に判断する能力			
	〇2	クリティカル領域における患者に必要な治療を決定できる能力			
	〇3	患者に安心・安全な医療をタイムリーかつ効果的に提供するために医師等との協働ができ、ネットワーグを推進できる能力			
	〇4	専門職としての倫理的態度と能力			
	〇5	高度看護実践者として、新習的経路の視点をもつトータルアセスメント能力			
	〇6	臨床実践に基づき継続的形態へと転化する研究能力			
	〇7	クリティカル領域における患者の危機的状況を支援する能力			
授業計画					
回	内容				担当教員
第1回	I. 症候診断推論の考え方とプロセス				浦中 他17名
第2回	・診療のプロセス				
第3回	II. 臨床推論のためのエビデンスに基づく方法				
第4回	・臨床疫学の理論と演習 1) 検査前確率とLR 2) 検査結果の解釈 など				
第5回	III. クリティカル領域で遭遇する症状に対する臨床推論の				
第6回	1) 発熱 ・感染症の主要症候と主要疾患				
第7回	2) 腹痛(婦人科含む)				
第8回	・硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整の方法				
第9回	・硬膜外麻酔の選択と投与量				
第10回	3) 嘔吐・吐血・下痢 ・循環動態に関する局所解剖				
第11回	・循環動態に関する主要症候 ・脱水や低栄養状態に関する主要症候				
第12回	4) 胸痛 ・医療面接の理論と演習・実習				
第13回	・臨床推論(症候学を含む)の理論と演習				
第14回	5) 呼吸困難 ・気管切開に関する局所解剖				
第15回	・気管切開を要する主要疾患の病態生理 ・気管切開を要する主要疾患のフィジカルアセスメント				
第16回	6) 浮腫 ・臨床推論(症候学を含む)の理論と演習 ・各種臨床検査の理論と演習 血液検査 ・画像検査の理論と演習 単純エックス線検査/CT・MR				
第17回	・低栄養状態に関する局所解剖 ・低栄養状態の原因と病態生理				
第18回	・低栄養状態に関するメカニズム ・低栄養状態に関する検査				
第19回	7) めまい・耳鳴り ・臨床推論(症候学を含む)の理論と演習				
第20回	・各種臨床検査の理論と演習 生理機能検査 ・画像検査の理論と演習 単純エックス線検査/CT・MRI				
第21回	・主要疾患の病態と臨床診断・治療の概論(感覚器系)				
第22回	8) けいれん・麻痺 ・臨床推論(症候学を含む)の理論と演習				
第23回	・各種臨床検査の理論と演習 その他の検査(髄液検査) ・画像検査の理論と演習 単純エックス線検査/CT・MRI				
第24回	9) 意識障害 ・臨床推論(症候学を含む)の理論と演習				
第25回	・各種臨床検査の理論と演習 微生物学検査 ・画像検査の理論と演習 単純エックス線検査/CT・MRI				
第26回	10) ショック ・各種臨床検査の理論と演習 心電図 ・画像検査の理論と演習 単純エックス線検査/超音波検査/CT・MRI				
第27回	・心臓ドレナージに関する局所解剖 ・心臓ドレナージを要する主要疾患の病態生理				
第28回	11) 血糖値、電解質異常 ・臨床推論(症候学を含む)の理論と演習 ・各種臨床検査の理論と演習 血液検査				
第29回	・低栄養状態に関する局所解剖 ・低栄養状態の原因と病態生理				
第30回	・低栄養状態に関するメカニズム ・低栄養状態に関する検査				
第31回	12) 外傷 ・創部ドレナージを要する主要疾患のフィジカルアセスメント ・心臓ドレナージを要する主要疾患のフィジカルアセスメント				
第32回	・心臓ドレナージの目的 ・心臓ドレナージの適応と禁忌 ・心臓ドレナージに伴うリスク(有害事象とその対策等)				
第33回	・心臓ドレナージの抜去の適応と禁忌 ・心臓ドレナージの抜去に伴うリスク(有害事象とその対策等)				
第34回	・心臓ドレナージの抜去の方法と手技				
第35回	13) 貧血・全身倦怠感 ・臨床推論(症候学を含む)の理論と演習				
第36回	・各種臨床検査の理論と演習 病理検査 ・画像検査の理論と演習 放射線の影響				
第37回	・医療面接の理論と演習・実習				
第38回	14) 頭痛・くらつき・しびれ ・臨床推論(症候学を含む)の理論と演習				
第39回	・各種臨床検査の理論と演習 心電図/血液検査 ・画像検査の理論と演習 単純エックス線検査/CT・MRI/その他の画像検査(RI)				
第40回	15) 腰背部痛・関節痛・下肢痛 ・臨床推論(症候学を含む)の理論と演習				
第41回	・各種臨床検査の理論と演習 尿検査 ・画像検査の理論と演習 単純エックス線検査				
第42回	16) 精神症状・認知障害 ・臨床推論(症候学を含む)の理論と演習				
第43回	・各種臨床検査の理論と演習 その他の検査(認知機能検査) ・画像検査の理論と演習 単純エックス線検査/CT・MRI				
第44回	・主要疾患の病態と臨床診断・治療の概論(神経系)				
第45回	17) 発疹・その他の皮膚症状 ・臨床推論(症候学を含む)の理論と演習				
第46回	・各種臨床検査の理論と演習 微生物学検査				
第47回	18) 視力低下・視野障害 ・臨床推論(症候学を含む)の理論と演習				
第48回	・各種臨床検査の理論と演習 生理機能検査 ・画像検査の理論と演習 単純エックス線検査/CT・MRI				
第49回	19) 小児に起こりやすい症状(発熱・下痢) ・臨床推論(症候学を含む)の理論と演習				
第50回	20) 排尿障害 ・胃ろう、腸ろう及び膀胱ろうを要する主要疾患の病態生理 ・胃ろう、腸ろう及び膀胱ろうを要する主要疾患のフィジカルアセスメント				
事前・事後学習	事前学習: 当日の課題に関し参考図書の内容を予習し理解して授業に参加する。 事後学習: 授業の内容を配布資料と参考図書等で復習する。 単位と時間数に応じた学習時間(学生便覧参照)を参考に組み合わせること。				
評価の方法	課題レポートにて評価する。この他に筆記試験および観察評価を行う。フィードバックは適宜行う。				
参考図書・資料等	①1) 浩見 英太 監修: シェネラリストのための内科診断リファレンス、医学書院 2) シルビア・C・マッキーン他: 病院勤務医の技術-ホスピタリスト養成講座-、日経BP社 3) S. スタン他: 考える技術 臨床的思考を分析する、日経BP社 4) デヴィッド L サイメル、ドルモンド レニー 著: JAMA版 論理的診察の技術、日経BP社 ◎は授業の必須図書ですので、購入していただきます。				
備考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。				